主　　催＝千葉市美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
協　　賛＝ライオン／清水建設／大日本印刷／
　　損保ジャパン／日本テレビ放送網
会　　期＝2012年5月29日（火）－7月8日（日）
休 館 日＝6月4日（月）、6月18日（月）、7月2日（月）
会　　場＝千葉市美術館8・7階展示室
開館時間＝10:00 -18:00［毎週金・土曜日は20:00まで］
＊入場受付は閉館の30分前まで
観 覧 料＝一般1000（800）円、大学生700（560）円
＊小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
＊（ ）内は前売・団体20名以上、および千葉市内にお住まいの60歳以上の方の料金
＊前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ（5月20日まで）、ローソンチケット（Ｌコード｜ 39454）、セブンイレブン（セブンコード｜ 015-067）、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「 都賀駅 」「千城台駅」の窓口（7月8日まで）にて販売

— プレスリリース —

KEISAI EISEN

浮世絵師 溪斎 英泉

蘇る江戸の媚薬。

溪斎英泉（1791-1848）は、文化 10 年（1813）頃から没する嘉永元年（1848）まで、江戸文化が最も熟成された幕末期に活躍した浮世絵師です。英泉が得意とした美人画は、独特の妖艶さを示して強い存在感を放っており、文政（1818-30）中期頃には美人画の第一人者として認められ、多くの錦絵が出版されています。一方で風景画においても多くの作品を手がけ、浮世絵における風景画というジャンルの確立に多大な貢献をした絵師の一人でもありました。さらに趣味人達の求めに応じて制作した摺物、絵具に舶来の藍色（ベロ藍）を導入した意欲的な藍摺絵、力作の多い肉筆画、相撲絵、武者絵、おもちゃ絵、版本挿絵、また文筆もよくし、その活躍は広く多岐にわたっています。

江戸星ヶ岡に武士の子として誕生、6 歳で母を、20 歳で父と継母を亡くし、3 人の妹を養わなければならないという苦境の中で、さらに江戸詰として仕えていた安房北条藩を讒言によって辞することになり、流浪の末浮世絵師となったという英泉。その波瀾万丈の人生から生まれた浮世絵は、その生き様にも重ねられるようなバイタリティーに満ちています。

この展覧会では、千葉市美術館設立のきっかけともなった館蔵の英泉コレクション（今中宏コレクション）を中心に、主要な所蔵先のご協力を得て、選りすぐりの約 350 点により浮世絵師英泉の実像に迫ります。

関連企画

記念講演会 ： 各回14:00より／11階講堂にて／定員150名／ 聴講無料

「英泉の美人大首絵」 6月2日（土） 講師：浅野秀剛（大和文化館 館長） **（事前申込制①）**

「英泉と江戸後期の化粧事情」 6月16日（土） 講師：村田孝子（ポーラ文化研究所 研究員） **（事前申込制②）**

市民美術講座 ： 各回14:00より／11階講堂にて／定員150名／ 聴講無料

「藍摺の流行 ―英泉を中心に―」 6月23日（土） 講師：田辺昌子（当館学芸課長）（先着順）

「好きな浮世絵、嫌いな浮世絵」 6月30日（土） 講師：河合正朝（当館館長） **（事前申込制③）**

■ 申込方法 ■

往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号、希望講演名、人数（2名まで）を明記の上、下記までお申込ください。
〒260-8733千葉市中央区中央3-10-8
千葉市美術館企画係
（1通につき1講演、応募多数の場合は抽選となります。）
申し込み締切はそれぞれ、
①5月23日（水）、②6月6日（水）、③6月20日（水）、必着。

イブニング・スライド＆レクチャー

夜間開館に合わせて担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。
6月1日(金)、6月15日(金)、6月29日(金) の17:00-18:00
講師：田辺昌子（当館学芸課長） ＊内容は各回とも同じです
９階講座室　聴講無料

ギャラリートーク

担当学芸員による－5月30日（水）14:00より
ボランティアスタッフによる－会期中の毎週水曜日 14:00 より（5月30日を除く）
＊他の平日14:00にも行うことがあります。

『江戸を摺る！』

美術館ボランティアスタッフによる多色摺ワークショップ。
6月24日（日）　10:30 -12:00、13:00-15:30
7階ミュージアムショップ手前（参加無料）

同時開催

小早川清《 近代時世粧ノ内 ― ほろ酔ひ 》昭和5（1930）年　千葉市美術館蔵

モダンガール万華鏡 －近代日本の絵画・版画から－　5月29日（火）―7月8日（日）

江戸の世が終わり、多様化してゆく明治期以降の女性像。艶然と微笑み、街を闊歩し、時に憂いに沈み、時に挑発する女たち。万華鏡さながらに表情を変える、瑞々しい絵姿の数々をお楽しみください。

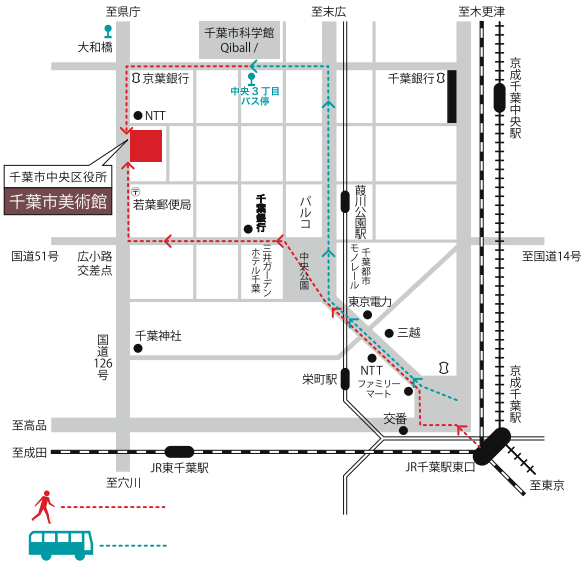
次回展予告

夏休み特別企画　どうぶつ大行進　7月14日（土）―9月2日（日）

「どうぶつ大行進」の美術館で、動物表現の５Ｗ１Ｈ・・・いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どんな風に・・・を探ってみましょう。宗達、歌麿、北斎ほか江戸の絵師から現代の作家まで多数による、犬、猫、虫や鳥、象やライオンほか古今の多彩な動物イメージ。千葉市美術館コレクションの知られざる一面がぞくぞく登場します。

森一鳳《象図屏風》江戸時代　千葉市美術館蔵

交通案内



◎ JR 千葉駅東口より
・徒歩約15分
・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央３丁目」下車徒歩約3分
・千葉都市モノレール県庁前方面行「蓮川（よしかわ）公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約 3km、広小路交差点近く
◎千葉市中央区役所と同じ建物です
◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください

千葉市美術館
〒 260-8733
千葉市中央区中央 3-10-8
Tel. 043-221-2311（代）
FAX. 043-221-2316
http://www.ccma-net.jp

『浮世絵師 渓斎英泉 』展
ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡下さい。
使用はお申し込みの通り 1 回限りとし、内容をご了承ください。

1. 渓斎英泉
《雲龍打掛の花魁》
大判錦絵竪2枚続
天保期(1830-44)
千葉市美術館蔵

2. 渓斎英泉
《田川屋前の芸者》
大判錦絵竪2枚続
天保期(1830-44)
メ～テレ(名古屋テレビ放送)蔵

3. 渓斎英泉
《見立女三の宮》
絹本着色一幅
天保期(1830-44)
千葉市美術館蔵

5. 渓斎英泉《美人会中鏡 時世六佳撰》
大判錦絵 文政(1818-30)中期
名古屋市博物館蔵

6. 渓斎英泉《浮世風俗美女競 一泓秋水浸芙蓉》
大判錦絵 文政(1818-30)中期
千葉市美術館蔵

4. 渓斎英泉《今様花鳥風月》
大判錦絵3枚続　天保期(1830-44)　神奈川県立歴史博物館蔵

7. 渓斎英泉《舟中の男女》
大判錦絵 文政(1818-30)前期
千葉市美術館蔵

8. 渓斎英泉《木曾街道 塩尻嶺諏訪ノ湖水眺望》
大判錦絵　天保6-7年(1835-36)頃
たばこと塩の博物館蔵

『浮世絵師 溪斎英泉』展
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
* 写真のご利用は、1申込について1回とし、使用後のデータは破棄してください。
* 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
* 原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者：	発行日予定：
ご連絡先電話：	発行部数：
FAX:	定価：
Email:	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日：　　月　　日　　時まで	画像の掲載サイズ（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 溪斎英泉 《雲龍打掛の花魁》 大判錦絵竪2枚続　天保期（1830-44）　千葉市美術館蔵
2. 溪斎英泉 《田川屋前の芸者》 大判錦絵竪2枚続　天保期（1830-44）　メ～テレ（名古屋テレビ放送）蔵
3. 溪斎英泉 《見立女三の宮》 絹本着色一幅　天保期（1830-44）　千葉市美術館蔵
4. 溪斎英泉 《今様花鳥風月》 大判錦絵3枚続　天保期（1830-44）　神奈川県立歴史博物館蔵
5. 溪斎英泉 《美人会中鏡　時世六佳撰》 大判錦絵　文政（1818-30）中期　名古屋市博物館蔵
6. 溪斎英泉 《浮世風俗美女競 一泓秋水浸芙蓉》 大判錦絵　文政（1818-30）中期　千葉市美術館蔵
7. 溪斎英泉 《舟中の男女》 大判錦絵　文政（1818-30）前期　千葉市美術館蔵
8. 溪斎英泉 《木曾街道　塩尻嶺諏訪ノ湖水眺望》 大判錦絵　天保6-7年（1835-36）頃　たばこと塩の博物館蔵

■プレゼント用招待券申込
（ご希望の場合はチェックをつけてください）

□ 5組10名様希望します
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先 ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

E-mail：tanabe@ccma-net.jp（担当学芸員 田辺昌子）
isono@ccma-net.jp（広報担当 磯野 愛）

Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）
Fax. 043-221-2316
HP. http://www.ccma-net.jp/